

名戸ヶ谷ビオトープだより

第48号 2012年冬(新年)号

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会発行

<http://nadogaya-biotope.org/>

発行責任者：篠崎 将 Tel/Fax: 04-7173-6353

参加者増えた収穫祭



いつものようにビオトープを見下ろしながらテーブルを囲む

11月3日(祝日)、今年の収穫祭を行いました。晴天に恵まれ、大勢の参加者があり、今年も盛会でした。私共幹事の不手際のため、準備の道具が揃わないというハプニングがありましたが、メンバーの皆様の熱心なご協力と名戸小の思いもかけなかった応援を頂き、無事にスタートを切ることが出来ました。

次ページへつづく

総会のお知らせ

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会の第10回総会を下記にて開催します。会員の皆様の出席をお願いします。なお、準備の都合上、本会報に同封されている出欠連絡ハガキにて出欠をご連絡ください。欠席の場合は、総会成立のために委任状部分に記載もお願いします。総会議案書は当日配布予定。会場では今年度の年会費納入も受け付けます。

記

日時 2012年1月21日(土) 午前10時～

場所 名戸ヶ谷ふるさとセンター(名戸ヶ谷小学校の南側道路に面しています。)

議題 2011年度活動報告、会計報告

2012年度活動予定、予算案

年会費を改定するために会則第10条の改訂の審議

(現行の年会費2000円、家族会員年会費3000円をともに1000円に引き下げを提案予定)

講演 議案終了後に本会佐々木光正氏による講演を行います。またすべて終了後に懇親会も行います。(会費不要)



昼には名戸小の校長先生や担任先生にお越しいただき、柏市からは担当課長にご出席を頂きました。今回初めて近くの保育園の保母さんにもおこし頂きました。今年は放射線問題があったため子供たちの参加がどうなるのかが気がかりでしたが、ふたを開けてみると大勢の子供たちがやってきてくれました。

宴たけなわとなった頃、今回特別参加をお願いした千代田町の小林さんの手品芸のご披露があり一段と盛り上がりました。担当幹事として、収穫祭の準備や調理にご協力いただいたメンバーの皆様にあつく御礼申し上げます。（佐々木



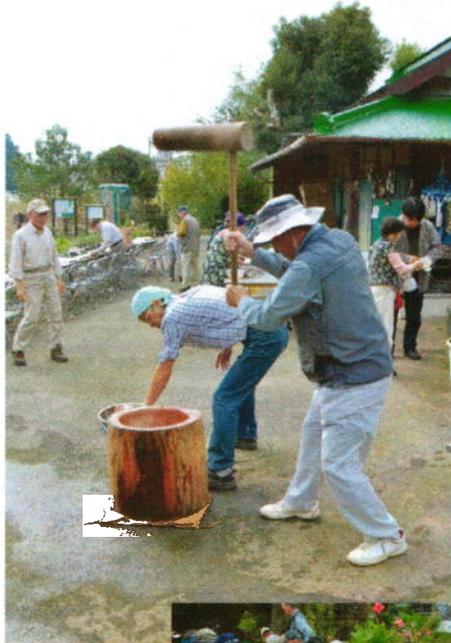
光正)

小林さんの手品に子どもたちも大喜び

写真上
食膳の準備

写真右
言わずと知れた
餅つき

写真下
餅米ふかし
このカマドは名戸ヶ谷小学校からの借用です。持参の名戸ヶ谷小学校長に感謝



写真上・下
食卓風景
いろいろ話がはずみます。



ビオトープ水田収穫量の推移実績

影山賢三氏によるデータを元にしたもの

年度	もち米			うるち米			備考
	玄米収量 Kg	面積 坪	反収 Kg/反	玄米収量 Kg	面積 坪	反収 Kg/反	
2003(H15)年	149	165	271	186	238	234	
2004(H16)年	193	165	351	296	268	331	
2005(H17)年	173	165	315	228	268	255	
2006(H18)年	150	165	272	231	238	291	不水田：分けつ肥料窒素分 3Kg/反
2007(H19)年	48	165	87	141	238	178	両水田とも雑草繁茂で不作
2008(H20)年	153	127	361	306	269	341	全水田秋鶏糞N分1.5Kg, 元肥 3.5Kg, 穂肥1Kg+ミネラル
2009(H21)年	134	127	316	319	269	356	7月の天候不順のため前年収量 を下回る。
2010(H22)年	106	127	250	300	269	335	分けつ、稲の躯体の生育は順 調だったが実入りが不十分で 収量減少
2011(H23)年	79 93	127	187	292	269	326	倒伏防止と結実をよくするた めに元肥を減らし穂肥を減ら した。もちは大幅減収

コメにまつわる作業風景

コメを収穫して、それを精米して、皆さんに届けるまでには、大変な作業があるものです。

写真は下が米ぬか散布。右上は稲の乾燥が



終わったあとのホダパイプ解体。右下は収穫したコメを計量して袋詰め。いろんなことがあるものです。

